

明治維新 150 周年カウントダウン企画 垂水維新ツアー第 5 弾開催！



1 / 垂水市街地をめぐるツアーの様子 2 / 新玉ねぎ収穫体験の様子 3 / 道の駅たるみずでの特産品を使った昼食の様子

3月4日（日）、垂水維新ツアー最終回となる第5弾が開催され、25人の方々にご参加いただきました。これは、明治維新150周年を迎えるにあたり、垂水の文化や食、風景等を体感してもらうことを目的に企画したものです。今回は「垂水が守り続ける歴史と伝統」をテーマに垂水市本町出身、長崎大学の井手弘人准教授による垂水市で明治時代に生産が盛んだった砂糖についての講話や、新玉ねぎ収穫体験、特産品のぶりをを使った道の駅たるみずでの昼食など、垂水市を大いに満喫していただける内容となりました。また、5回全てに参加した4名の方に尾脇市長から垂水市特産品の贈呈も行われました。

2月25日（日）～3月4日（日）の8日間、第6回春を呼ぶ垂水土人形展が旧川畑秀夫さん宅（本町）で開催されました。人形展では、県指定伝統的工芸品の垂水人形の展示ほか、人形の絵付け体験、特産品販売なども行われ、350人が訪れました。期間中は、垂水小学校児童73名も訪れ、色鮮やかな人形に目を輝かせていました。また今年は、昨年フランスのパリで展示会が行われた薩摩ボタンの展示も行われ、色鮮やかな工芸品が人々を楽しませました。



第6回春を呼ぶ
垂水土人形展

それぞれの「やさしさ」が込められた 第18回若草文学賞



▲若草文学賞に選ばれた受賞者の皆さん

2月24日（土）、第18回若草文学賞表彰式が垂水市市民館で行われました。これは、市内小中学生がテーマに沿って書いた作文を審査するもので、豊かな感性や情緒を育み、思考力と表現力の向上を目的に行われているものです。今回のテーマは「やさしさ」で、小学生71点、中学生15点が出品されました。学校や部活、友達や家族について、それぞれが体験し、感じた「やさしさ」を素直に表現していました。

- ◎グランプリ（敬称略）
神崎快（松ヶ崎小2年）
- ◎最優秀賞（敬称略）
天野恵光（牛根小1年）
深見杏夏（垂水小1年）
久木田健成（垂水小1年）
川畑岳生（垂水中央中2年）
- ◎優秀賞（敬称略）
西原才葵（垂水小2年）
脇夏里奈（松ヶ崎小3年）
大石美佳（松ヶ崎小3年）
田中月渚（新城小4年）
四元咲良（垂水小5年）
池田梨々亜（境小5年）
池田和生（垂水中央中3年）
- ◎推薦
山口隆之介（水之上小1年）
坂本春真（垂水小2年）
岩切瑠音（協和小3年）
天野唯花（牛根小3年）
下瀬留楓（垂水小4年）
岩元悠人（柘原小5年）
大迫俊介（柘原小6年）
- ◎学校賞
松ヶ崎小学校

3月4日（日）、牛根境地区の伝統行事二月祭りが開催されました。これは、境地区住民の安全と無病息災、五穀豊穡を祈願して行われるもので、老神神社で伝統の棒踊りが奉納されます。境地区の棒踊りは、二月祭りと称され、神社での奉納後、民家を回り、踊りが披露されます。三尺・鎌・六尺の役が一組になり、切り合いなどの動作を大きく勇ましく、優雅に踊るのが特徴です。二月祭りをとおし地域住民がふれあい、伝統行事が大切に受け継がれています。



伝統行事二月祭りで
境地区の安全祈願